

【NEWS RELEASE】

2021年12月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

パシフィックコンサルタンツ株式会社に「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、パシフィックコンサルタンツ株式会社（代表取締役社長：重永 智之）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、パシフィックコンサルタンツ株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 国土基盤・交通基盤分野、都市・地域開発分野のコンサルティングを通じた、強靱なインフラ開発と持続可能な都市化の推進

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.a アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国および小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術の支援強化を通じて、開発途上国における持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラ開発を促進する。

- ② 自社のGHG 排出量実質ゼロへの取組の推進、および気候変動対応に資するコンサルティングや事業の実践による脱炭素社会実現への貢献

目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略および計画に盛り込む。
---------------------------	---------------------------------

<p>目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<p>7.2 2030 年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。</p>
<p>目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>	<p>9.4 2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。</p>

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

パンフィックコンサルタンツ株式会社 業務実績



むつぎわスマートウェルネス
タウン拠点形成事業健康と
安心とにぎわいのある
サステナブルなまちづくり

フィリピン国台風ヨランダ災害
緊急復旧復興支援プロジェクト

二国間クレジット制度の
プロジェクト実施促進に向けた
アフリカ・島嶼国・中東および
中南米地域における案件の
発掘・形成事業

<ご参考>

※ SDG sとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。